

看護学の様々な領域と薬理学との橋渡しを目指す

✚ 看護の視点が 薬物治療を変える

看護薬理学 カンファレンス 2018 in 福岡

The Nursing Pharmacology
Conference

開催

2018年11月17日(土) 9:00-16:20

九州大学医学部百年講堂

カンファレンス大会長

池谷裕二 (東京大学大学院
薬学系研究科薬品作用学講座教授)



TBS系
『新・情報7days
ニュースキャスター』出演中
脳研究に関する著書多数

受講対象

定員:500名(先着順)

看護職を主な対象としま
すが、看護職以外の方の
受講も歓迎いたします。

参加費 3,000円(昼食弁当付)

参加登録

参加申込:事前登録必須
登録期日:11月9日(金)まで

※カンファレンスおよび懇親会に参加希望の薬理学会会員は西南部会HPよりお手続きをお願いします。
※薬理学会非会員の方は、事前にお申し込みの上、当日に受付にて参加費及び懇親会費をお支払いください。

http://npc.ssrd.jp/guidance/place/fukuoka_2018.html

看護薬理学カンファレンス 2018 in 福岡



2018年11月17日(土) 九州大学医学部百年講堂

プログラム

看護薬理学カンファレンス開会式 9:00

■ シンポジウム1 9:10~10:40

看護を遂行するために、看護職がどのように薬理の知識を持ち、活用すればいいか

〈村嶋幸代先生 / 真田弘美先生〉
(大分県立看護科学大学学長) (東京大学大学院教授)

- 1 『NPの発展と薬理学の必要性』
村嶋幸代先生 (大分県立看護科学大学学長
・ 東京大学名誉教授)
- 2 『看護師に求められる薬理学の知識と技術』
赤瀬智子先生 (横浜市立大学医学部看護学科
看護生命科学教授)
- 3 『NPの臨床に薬理学を活用する』
塩月成則先生 (佐伯中央病院副看護部長
NP診療室長)

総合討論

■ シンポジウム2 10:50~12:20

「生きる」とともに支援する医療とケア

—暮らしの質を左右する排泄ケア—

〈濱田正美先生 / 柳田俊彦先生〉
(九州大学病院看護部長) (宮崎大学教授)

- 1 『高齢者の生活の質を左右する蓄尿症状と薬物療法 —過活動膀胱を中心に—』
高橋良輔先生 (独立行政法人労働者健康安全機構
総合せき損センター 泌尿器科部長)
- 2 『排尿ケアチームの活動と認定看護師の立場から』
柳迫昌美先生 (原三信病院看護部長
皮膚・排泄ケア認定看護師)
- 3 『尿路感染ケアを行う認定看護師の立場から』
小林里沙先生 (九州大学病院副看護師長
感染管理認定看護師)

総合討論

休憩 12:20~13:20

■ 特別講演 13:20~14:20

『褥瘡対策最前線—2018』

真田弘美先生 (東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻老年看護学 / 創傷看護学分野教授)

休憩 14:20~13:30

閉会式 16:10

■ 看護薬理学教育セミナー1 14:30~15:20

『看護師の皆さんに知ってほしい脳のしくみ』

池谷裕二先生 (東京大学大学院薬学系研究科
薬品作用学講座教授)

■ 看護薬理学教育セミナー2 15:20~16:10

『患者さんに自信を持って助言できる看護師となるために:看護に必要な薬学的視点』

首藤 剛先生 (熊本大学大学院
生命科学部(薬学系)遺伝子機能応用学分野准教授)

看護薬理学教育セミナーを受講された方には「受講修了証」を発行致します。

【参加登録】

参加申込: 事前登録必須 登録期日: 11月9日(金)まで
◎期日までに、ホームページ内の登録フォームよりお申し込み
ください。事務局からの返信があれば登録完了です。

http://npc.ssrj.jp/regist_fukuoka/

【同時開催】

第71回日本薬理学会西南部会 | 九州大学医学部百年講堂

<http://www.congre.co.jp/seinan71/>



お問い合わせ先

看護薬理学カンファレンス事務局

担当: 宮崎大学医学部看護学科臨床薬理
柳田俊彦 宛

yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp

※メールの件名には「看護薬理学カンファレンス2018 in福岡」とご記入ください。